

医療ソーシャルワーカーの相談・援助

「厚生労働省 医療ソーシャルワーカー業務指針」参考に作成

社会復帰援助

退院援助

「脳卒中で倒れた。これからの生活のためにはどんな施設、サービスがあるのか？」

「病気があっても、自分らしい社会生活に戻りたい……」

「福祉制度と保険の説明をしますね！」

「医療費が心配」

経済的問題の解決援助

医療ソーシャルワーカー

「地域の課題はなんだろう？多職種と地域ケア会議で話し合おう！」

地域活動

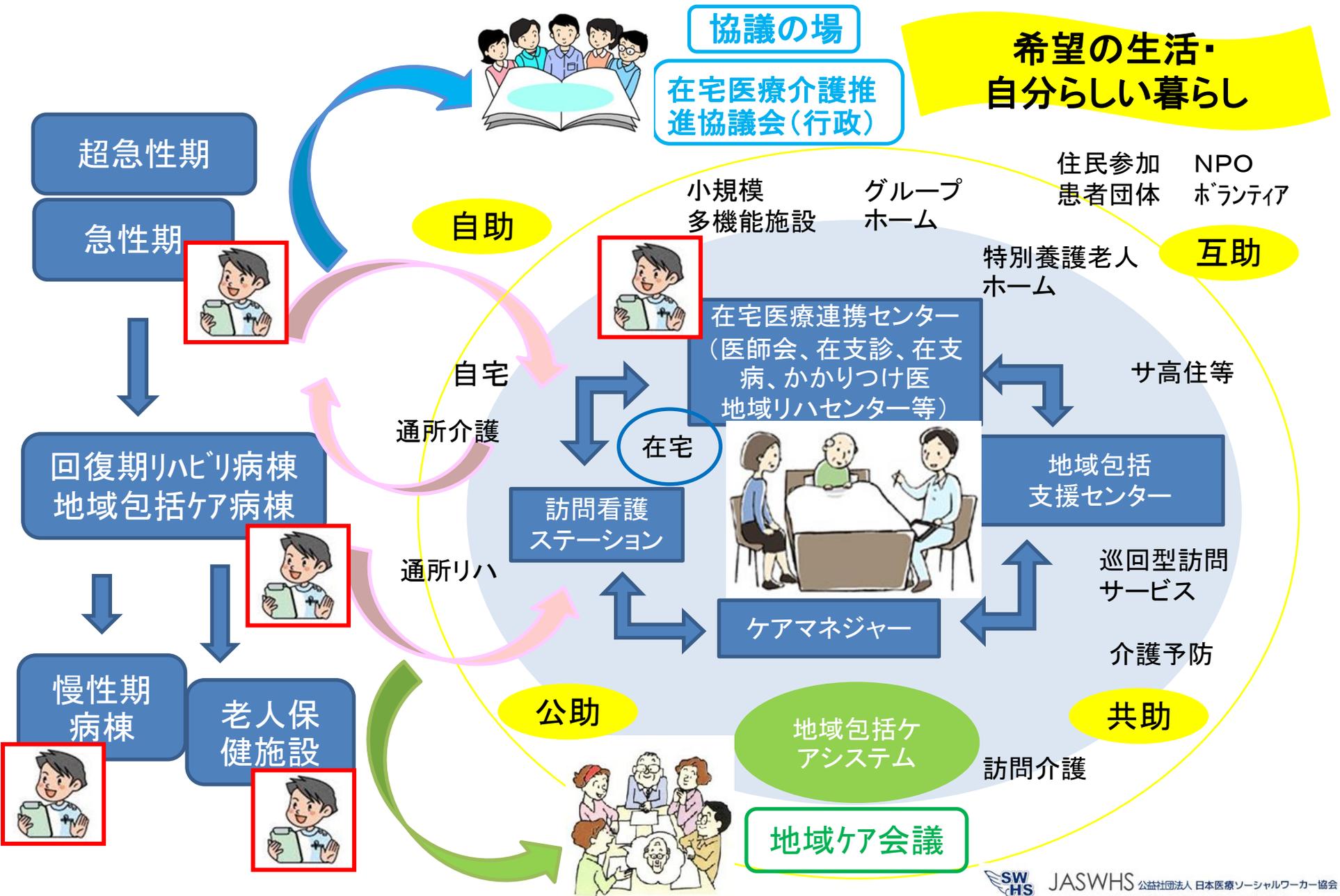
受診・受療援助

「本人がどうしても受診を拒否しているのですがどうしたらいいか……」

「病気になり落ち込んでしまった。治療に専念できない……」

心理・社会的問題の解決援助

地域包括ケアにおける医療ソーシャルワーカーの働き



地域包括ケアの中での 医療ソーシャルワーカー(MSW)の役割と効果

効果

地域課題を都道府県市町村レベルで検討する会議への参加。住民の意思を引き出し、ニーズを把握し、尊重できる話合いの促進。



ソーシャルケースワーク、地域ケア会議の蓄積・社会資源の開拓の経験から地域課題の抽出、解決方法の提案ができる。

個別ケースの検討をする地域ケア会議の開催・参加。地域資源の潜在的可能性の探求。新たなネットワークの構築。



退院前個別地域ケア会議のコーディネーター。患者・家族の意思・希望をつなぐ計画立案・実施・フォローアップできる。

医療機関等における退院支援を通して、患者・家族とソーシャルケースワーク面接の実施。



患者(患者の意思決定が難しい場合には家族)の意思・希望の尊重し、ニーズを充足するための支援ができる。

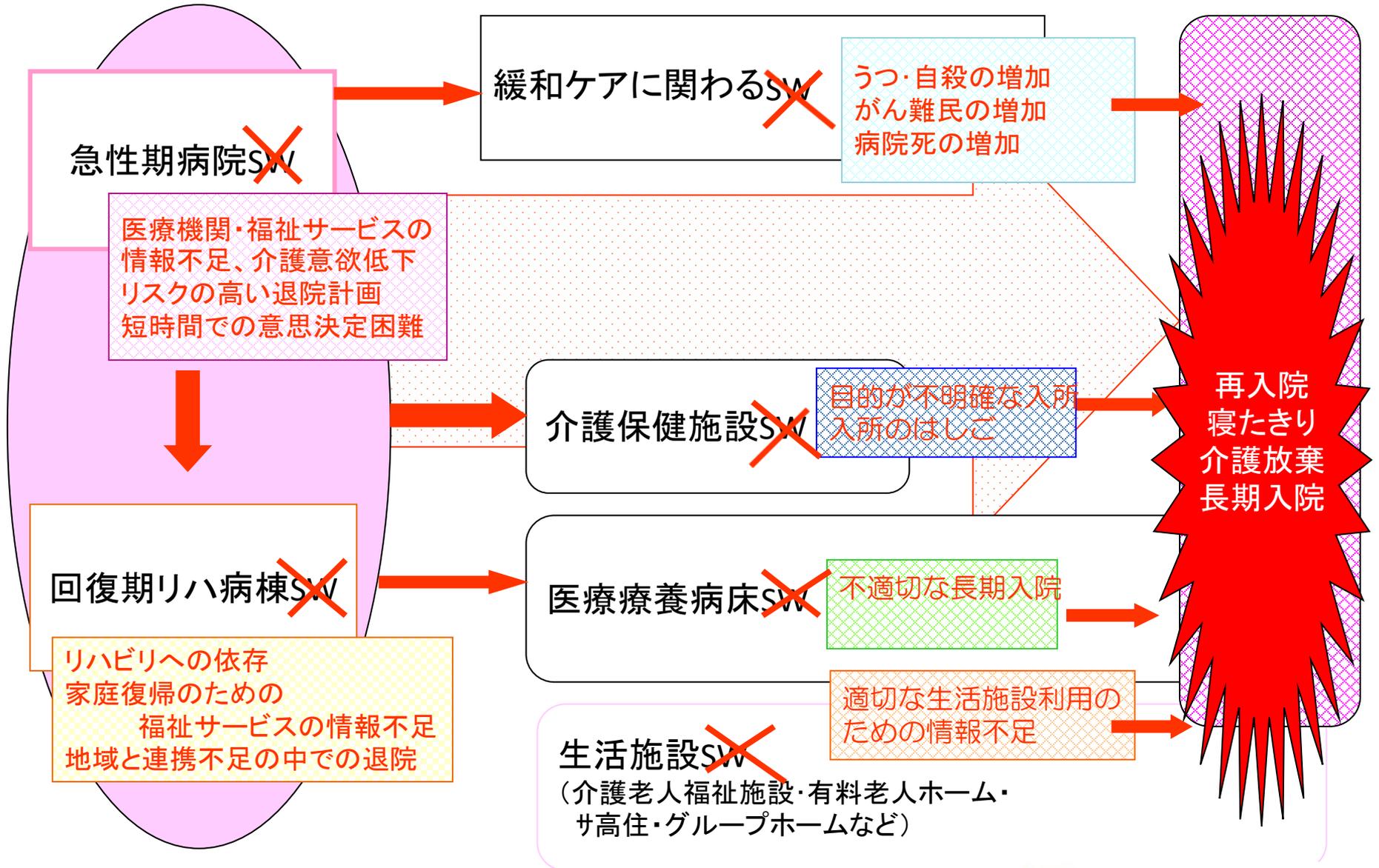
行政・制度
アドボカシー

MSW

地域
ネットワーク

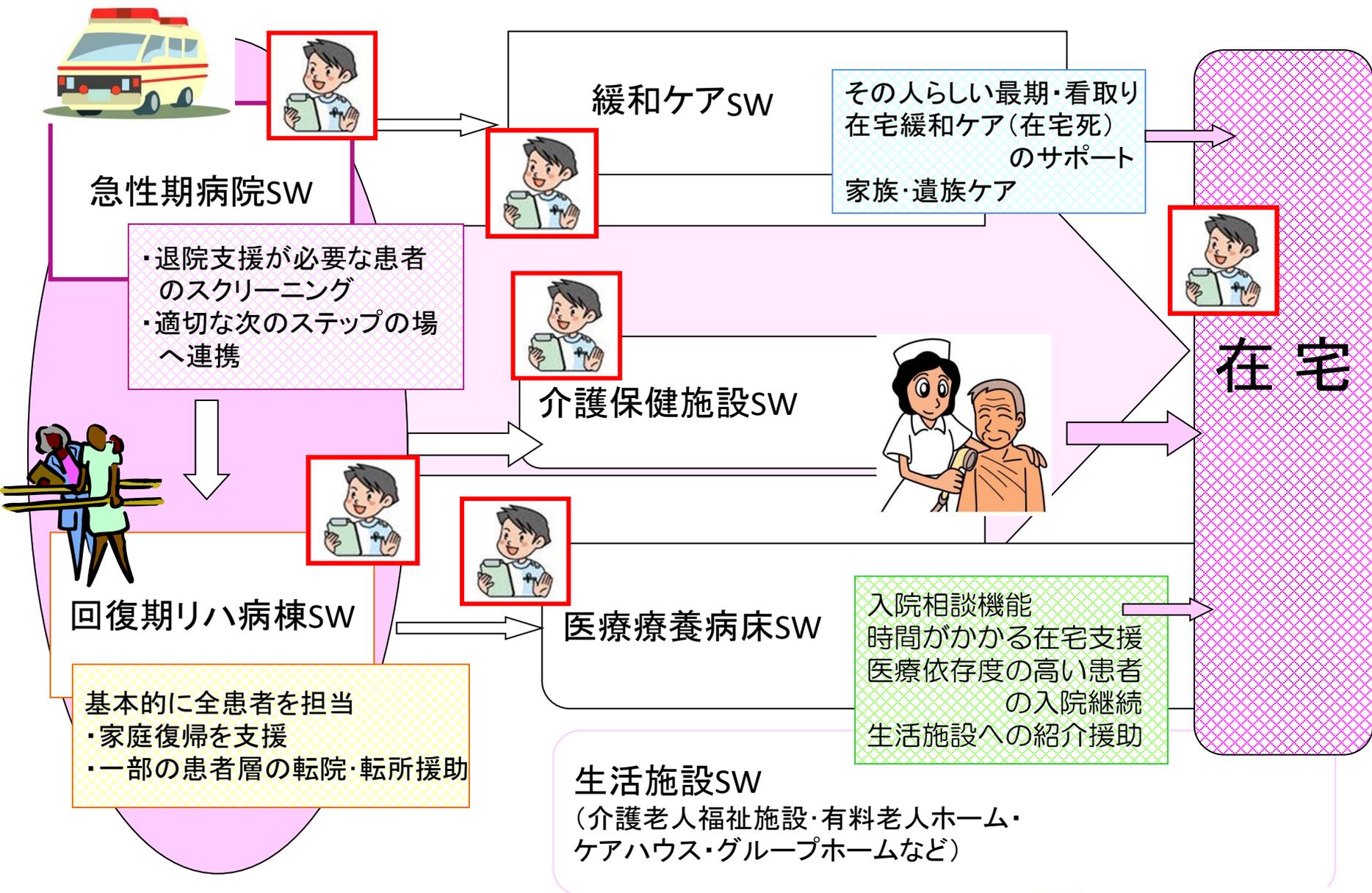
ソーシャル
ケースワーク

医療ソーシャルワーカーの支援の欠落によるリスク



医療ソーシャルワーカーの役割と連携の図

急性期～回復期～維持期の流れの中で



退院支援

退院支援とは、病気や障害のある方が自らの人生をどのように歩むかを選択し、適切な医療やケアを受けながら住み慣れた地域で生活を送るための支援



急性期病院

入院48時間以内に患者情報をアセスメント

- 退院困難者の抽出
- 患者や家族の意思・希望を聴き、ニーズを把握
- 退院支援計画の作成

面接



この先の
生き方の
分岐点

医療ソーシャル
ワーカー・
看護師

ケアマネ(介護
サービス等)



退院前カンファレンス

- 在宅に向けての患者の医療情報を提供
- 在宅療養生活上の課題を共有
- 患者の意思・希望をつなぎ、ニーズに応えるためのネットワークを形成

退院

在宅医療連携
の相談窓口

在宅療養支援診療所
訪問看護ステーション 等

何かあったら……

緊急時の対応
についての取
り決め



効果

- 在宅療養に関する患者や家族の理解が深まる
- 退院困難と考えられた患者が退院可能になる